

とかりがね

東根市立長瀬小学校

令和6年7月1日発行

多様な見方・考え方，想像力をたくましく



左の絵を提示され、「何に見えますか？」と問われたらどう答えますか。「黒を見てごらん？何が見える？」という問いかけには、きっと「ワイングラス」と答えるでしょう。「白を見てごらん？何に見える？」という問いかけには「二人の横顔が見える。」と答えるでしょう。

人間の脳は、指示された情報を中心に、考えたり見たりしようとし、それが全てと見る傾向が強くなります。でも、柔らかな頭でまた違う見方をすると、別の見え方が生まれます。情報をうのみにせず、そして一方的に決めつけず、様々な角度や方向から見ようとする見方・考え方を広げて欲しいと思います。

上記の話に基づけるなら、苦しいことや辛いことは、その現状に留まれば「とことん苦しい・辛い」と感じ、とても高いハードルをこえなければなりません。これは自分を成長させてくれる「絶好のチャンス」と捉えたら、辛いことへの見方・考え方が、不幸なことから幸運なことへと180度かわることもあります。

それでは、今年度の長瀬小学校の目指す2つの「う」（「うれしい」「うるわしい」）はどうでしょう。自分だけが「うれしい気持ちになった」で終わっては、まだまだ物足りないのではないのでしょうか。簡単なことではありませんが、「自分がうれしい」のは勿論、「みんながうれしい・だれもがうれしい」まで見方・考え方を広げ、子ども達には自分だけの殻に閉じこもることなく、周囲への豊かな想像力を身に付けて欲しいと考えています。

運動会の閉会式の講評で、子ども達に「うれしかったか」を問いかけ、その後会場の皆さん（保護者の皆さん・地域のみなさん）に問いかけたのも、そこに私の思いがあります。

「運動会」をはじめとして、「すもう会」「5・6年陸上記録会」「宿泊体験学習」「一年生を迎える会」等々、自分が「うれしい」と感じただけでなく、友達も、お父さんお母さんも、そして地域のみなさんも、みんな笑顔で「うれしい」と感じることは、これからの未来への「広がり」を実感させてくれます。やりっぱなしではなく、必ずやったことへの「振り返り」を大切にして、みんなが「うれしい」と実感できる体験や経験を数多く味わわせたいと思います。そして、そのことが、自分のみならず、自分以外の他者と共存していく土台となるものだと思えます。それが、「うれしい」を超越した、言葉でいえば「麗しい・うるわしい」に近づけるのではないのでしょうか。

3年前の卒業式に、こんなお話をしました。金子みすゞさんの詩です。人間の立場だけで考えれば、「大漁！大漁！」と大変喜ばしいことですが、海の中を想像すると・・・

大漁

金子みすゞ

朝焼け小焼けだ大漁だ！ 大場イワシの大漁だ！

浜は祭りのようだけど、海の中では何万のイワシの吊いするだろう。

一方だけを見るのではなく、様々な見方ができる力を、これからの生活の中で育ててほしいと思います。目に見えないものが見えるということは、現実にはとても難しいものです。でも目に見えないものを見ようとする努力は誰でもできます。それが、本当の「うれしい」、そして「うるわしい」につながっていくと思うのです。

(文責:校長 沼澤 徹)

～全力で、あきらめない心で、仲間とチャレンジの～「運動会」



今年はさわやかな風が吹く中、運動会を行いました。一つの目標に向かって声を掛け合い、励まし合う姿がたくさん見られました。

「すもう会」(すもう参観)



横網	齊藤 陽翔さん
太刀持ち	郷野 喬一朗さん
露払い	寒河江 天弥斗さん

今年は、低学年・中学年・高学年に分かれて、取り組みを行いました。平日にもかかわらず、たくさんの応援をいただきました。

5年自然の家宿泊体験学習

4年校外学習(山形方面)



2日間「協力」「全力」を合言葉にがんばりました。



不審者対応訓練・起震車体験



新校NOW!

長瀬大好きプロジェクト! We love Nagatoro!

PART 2



1・2年生
まちたんけん



6年生
想画学習開始



全学年
里芋の苗植え

1・2年生では、まち探検を行いました。今回は、ザリガニ釣りがメインです。長瀬は自然豊かで生き物もたくさんいます。1・2年生は夢中になってザリガニを釣りました。持ち帰ったザリガニを教室で大切に飼っています。

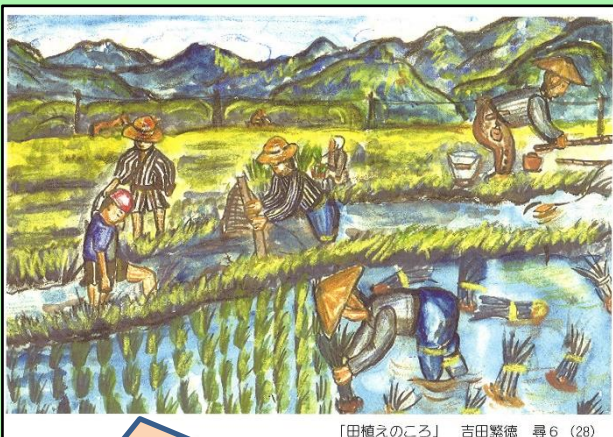
想画を語る会、東根俳句の会の皆様を講師に、6年生の想画学習が始まりました。8月のお盆に開催される二の堀灯笼祭りへ向けて、準備を進めていきます。素敵な灯笼ができるといいですね。ご指導よろしくお祈りします。

10月にウォークラリーと同日で計画されている芋煮会に向けて、全学年で里芋の苗を植えました。6月中旬まで雨の降らない日が多く、毎日の水かけを頑張っています。恵みの雨を祈りつつ、たくさん実ることを願っています。

* 想画特集 *

残そう! 昭和の記憶! 守り伝えよう! 長瀬の宝!

今年度も画文集『昭和の記憶』を中心に、想画の記憶をたどります。6年生による心に響いた想画の感想を届けます。



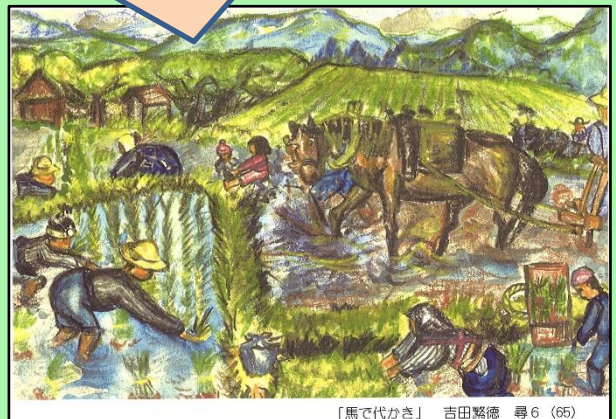
「田植えのころ」 吉田繁徳 尋6 (28)

ぼくは、この作品を見て、5年生で行った田植を思い出しました。かし作りも大変でしたが、田植は想画を見て初めて大変さを知りました。今の田植は、昔より簡単になったんだなと思いました。

6年 梅津 拳志郎

今は機械だけれど、昔は馬や手を使ってやっていた苦勞が伝わってきました。手前の草から後ろの山まで細かく描かれているので、リアルですごいと思いました。草や馬の影が本物のように見えました。

6年 梅津 由憲



「馬で代かき」 吉田繁徳 尋6 (65)

長瀬小学校ホームページを随時更新しています。

これまでの学校での活動もアップしていますので、ぜひ、ご覧ください。

《ホームページ URL》 <https://nagatoro-higashine.edumap.jp>

《長瀬小ホームページ QRコード》→

